



私たちの母校 宝塚音楽学校

私たちが宝塚の舞台に立つために、毎日通った学校の魅力を

の世界

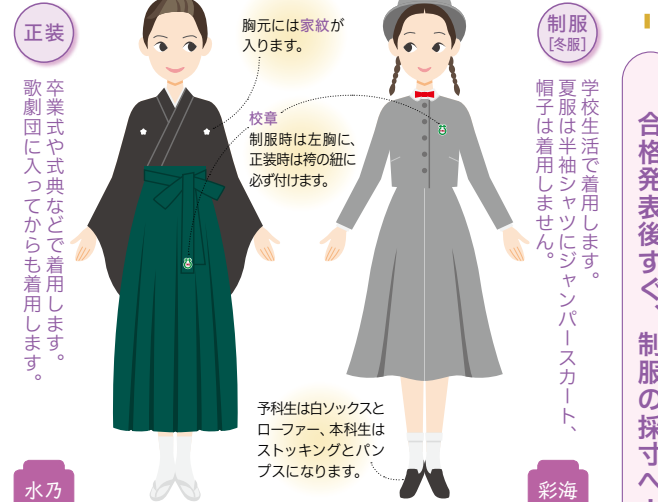
たっぷりとお伝えして参ります!!



みやひめ (花組) 都姫 ここ
しらかわ (月組) 白河 りり
みずの (星組) 水乃 ゆり

かぜいろ ひゆうが (宙組) 風色 日向
あやみ (雪組) 彩海 せら
あまと かのん (星組) 天飛 華音
はなみや さら (宙組) 花宮 沙羅

入試・入学～卒業までの2年間



正装 卒業式や式典などで着用します。歌劇団に入ってから着用します。
制服 夏服は半袖シャツにジャンパースカート、冬服は着用しません。
水乃 予科生は白ソックスとローファー、本科生はストッキングとパンプスになります。
彩海 胸元には家紋が入ります。校章 制服時は左胸に、正装時は袴の紐に必ず付けます。

合格発表後すぐ、制服の採寸へ!



March 3日 ◆合格発表



白河 掲示板が開いた時、自分の番号が一番上の見やすいところにあっただけ、びっくり! テレビにも映ってすごく嬉しかったのですが、インタビューには全然答えられませんでした(笑)。

受験生の時に、街で制服を着た音楽学校生の方を一度だけお見かけしたことがあって、それだけでもすごくテンションが上がったんです。だから自分が着た時は、あの憧れの制服だー!って、とにかく嬉しかったです。

合格発表の後、すぐに入学の説明があったので制服の採寸をしたりお稽古用の浴衣やレオタードを注文したり... 鹿児島に住んでいた私は宝塚は半分夢の中の世界だったので、これは本当に現実なんだろうか?と分らないまま一度に物事が進んだ感じでした(笑)。



◆創始者 小林三翁を偲ぶお墓参り(予科)



April 4日 ◆入学式(予科)

水乃 入学式は、とにかく緊張しました。でも自分の名前を呼んでもらえるのがすごく嬉しくて! 音楽学校の決まりなどを覚えるのにも必死でしたが、これからどんな学校生活が始まるのだろうって胸を膨らませていました。

彩海 入学式はドキドキ、ひたすらに緊張していましたが。合格してから3週間くらいしか経ってないのに、あの田舎にいたまったりな自分じゃないとか、自分でそんな自分に慣れてなくて「初めまして」みたいな感じでした(笑)。

お掃除も大切!!

都姫 講堂の床掃除を担当で本当に隅から隅まで掃除していました。私は綿棒で床を掃除するのは初めてだったのですが、靴の黒い跡は綿棒でこするとちゃんと取れるんですよ! 取れてきれいになった時は快感でした(笑)。



登校風景→

天飛 私たちはまだ旧すみれ寮だったので宝塚大橋の川下を毎朝、寒い中も暑い中も歩いて登校していました。すごくいい経験で思い出に残っています。



彩海 同期全員で阪急電車に乗ってお寺に行き、一三先生のお墓をお掃除して、お参りました。慣れない音楽学校の生活に必死だったので、ご挨拶に行ったらちゃんと宝塚の生徒になれたんだって実感できた気がします。

～ 私たちが通った学び舎 ～



↑校門 ↑宝塚大橋からみた校舎
タカラジュゼムの生まれたところ。 校舎入口→
宝塚音楽学校
宝塚音楽学校 ホームページ <http://www.tms.ac.jp>

～ 宝塚音楽学校の始まり ～

宝塚音楽学校は、宝塚歌劇の出演者を養成する学校です。宝塚歌劇団の生徒(出演者)になるにはこの学校を卒業しなければなりません。その始まりは、1913年(大正2年)、小林三翁によって創設された「宝塚唱歌隊」。そして、「宝塚少女歌劇養成会」を経て、1919年(大正8年)、文部省の認可を受け、技芸を学ぶ学校として「宝塚音楽歌劇学校」が創立され、それと同時に、在校生(予科1年・本科1年)と卒業生(研究科(修業年限なし))による「宝塚少女歌劇団」が発足しました。現在でも、入団1年目を研1(研究科1年)と呼ぶのは、この名残です。



1919年(大正8年) 学校校舎

～ 宝塚音楽学校の発展 ～

1927年(昭和2年)、日本初の本格的レビュー「モン・パリ」が上演され、日本中に主題歌が流れるほどの大成功を収めました。1939年(昭和14年)に、学校生徒の興行への出演が禁止されたことから、学校と劇団を分離し、予科1年・本科2年の「宝塚音楽舞踊学校」と改称しました。しかし、第二次世界大戦開戦とともに、劇団生たちに戦争協力を求められるなど激動の時代を過ごすことに... 1944年(昭和19年)から休校となっていた「宝塚音楽舞踊学校」は、終戦後、1946年(昭和21年)に、予科1年の「宝塚音楽学校」と改称し再開しました。その後、1957年(昭和32年)に予科1年・本科1年の2年制となり、現在に至っています。



1960年(昭和35年) 学校校舎

そして、1974年(昭和49年)、『ベルサイユのばら』の空前の大ヒットにより、宝塚音楽学校への入学希望者は激増。入学競争倍率は非常に高く、「東の東大、西の宝塚」とも呼ばれて、その名を馳せるようになりました。2020年度の募集人員は40名、倍率は21.3倍でした。

宝塚音楽学校では、音楽・舞踊・演劇といった実技教育だけではなく、「清く 正しく 美しく」の理念に基づき、舞台マナー、礼儀、作法など人間教育にも力を入れています。この理念を学校が生徒に向けて教え続けてきたのはもちろんのこと、上級生から下級生へと受け継がれ、芸道と筋に邁進するひたむきな姿は変わらない気風となっています。

入学試験

入学試験では、受験者の将来性、幅広い個性や才能、熱意等を審査します。

第1次試験 面接

宝塚会場 or 宝塚会場にて実施

都姫 会場の気配に満ちた雰囲気は圧倒されながらも、やるしかない!という気持ちでした。宝塚のことをほとんど知らず受験したので、一次の面接では動画で見たことのある独特な発声をしている人がいて新鮮でした。私も同じように言ってみなければ上手くできず...。でも合格できて良かったです!

第2次試験 面接・歌唱・舞踊

宝塚会場にて実施

天飛 同期の彩海せらとずっと一緒に宝塚を目指してきたので、受験の時は二人とも音楽学校に初めて入れたことが嬉しくて浮かしていました(笑)。振付には羽山(紀代美)先生や若央(りさ)先生がいっしょになって、宝塚の先生が目の前に!と感激でしたね。

白河 歌唱の試験は教室に10人ぐらい待機した中で一人ずつ課題曲を歌うんです。前の人が歌っているのをずっと聞いているのですが、歌詞がとんじゃうもいて、私もすごくドキドキしていました。

第3次試験 面接・健康診断

宝塚会場にて実施

白河 最終の3次はここまできたら絶対入りたい!と思ったのですが、聞かれたのは家から宝塚へどうやって通いますか?ということだけ。電車の乗り継ぎを答えて終了。面接の時間もそれぞれ長い人もいれば短い人もいて、私は一番短かったので、あ、ダメなんだと思いました、合格できました!

願書は本屋さんで購入可能!!



クリアファイルになります!

宝塚音楽学校附属 宝塚コードモアテネ

小学4年生から中学3年生までの女子を対象に、音楽・舞踊等のレッスンを通じて、学ぶことの楽しさと厳しさを伝え、少女たちの健全な育成を支援することを目的として設立されました。

受験資格は、中学卒業～高等学校卒業までの女子。4回受験が可能。

※ただし高等学校在学中の満18歳まで。